**第５回市民自治推進委員会　まちづくり部会議事録**

（敬称略）

◆ 開催日時：平成２８年８月２９日（月）　１８時３０分～講話　１９時００～

◆ 開催場所：登別市役所３階　第１会議室

◆ 出席部会員：部会長　　中原　義勝

　副部会長　渡部　雅子

部会員　　山田　正幸

　　　　　　　　　　　　 川島　雅司

　　　　　　　　　　　　 稲葉　一彦

笠井　康之（協働推進庁内委員会副部会長）

　　　　　　　　　　　　　　　　　 【市民生活部市民協働グループ総括主幹】

◆ 欠席部会員：部会員　　田中　寛志

　　　　　　　　　　　　 工藤　隆行

松本　崇之

　　　　　　　　　　　　 成田　育磨

　　　　　　　　　　　　 松田　毅　（協働推進庁内委員会部会長）

【保健福祉部次長】

◆ 事　務　局：　　　　　笠井　康之（庁内委員会兼）

【市民生活部市民協働グループ総括主幹】

　　　　　　　　　　　　 北村　泰一【市民生活部市民協働グループ主査】

◆ 議　題：「健康」に関する取り組みについて

　　　　　 前段で市民自治推進委員会委員に対する講話（リンパに関すること）を実施

**≪事務局≫**

Ａ３の資料で市民自治推進委員会スケジュールというものを配付しておりますので説明させていただきます。

以前からお話していましたが、市の予算に反映させるには遅くても９月・１０月くらいに事業の内容を固め、実施計画ローリングというものに上げなければなりません。

左から縦に「役所のスケジュール」「市民自治推進委員会」「庁内委員会」「行政」「市民及び団体」それぞれのスケジュールになっています。

「役所のスケジュール」は、市の新年度予算要求のスケジュールになります。

記載されているのは前年度のスケジュールですが、９月から実施計画ローリングが、１０月からはそれ以外の予算の要求事務が始まります。

　その右は「市民自治推進委員会」のスケジュールですが、４月２５日に全体会議を開催し、テーマを「健康」に決めました。

　その後、月１回部会を開催して「健康」に関する議論を重ねてきました。

　７月１３日には、各部会における協議内容の確認などのため、部会長・副部会長会議を開催しました。

　今後につきましても、月１回部会を開催し、「健康」に関する取り組みについて議論していただくことになりますが、市の新年度予算に反映するものについては、９月頃までには取り組みを固める必要があります。

　そして、９月か１０月には部会長・副部会長会議を開催する予定でいます。これは、前回の部会長・副部会長会議におきまして、部会を２回くらい開催した後、再度、部会長・副部会長会議を開催して、進捗状況の確認をするような話があったからです。

　１１月にも部会長・副部会長会議の開催を予定しておりますが、これは、市の事業への反映状況などについての報告と今後の取り組みの確認などを想定しております。

　今後の取り組みについては、その下に「今後の取組の検討事項」として想定されるものを例示として記載しています。

　なお、９月か１０月の部会長・副部会長会議と１１月の部会長・副部会長会議は、各部会の進行状況によってはどちらか１回の開催になる可能性があります。

　１１月と１２月に「部会の開催　健康をテーマとした継続的な取組を検討」とありますが、「健康」に関する取組については、市に関するものを先に検討したので、各種団体や市民レベルの取組について検討していくことになると思います。

　２月に「まちづくり部会（仮予定）市民講演会」とあります。まちづくり部会では「健康」に関する取組として健康に関する講演を検討しており、まず本日１８時３０分から市民自治推進委員会の委員を対象に開催します。市民を対象としたものについては、今年度予算対応で２月頃に開催できる可能性がありますので、まだ仮の仮ですが記載しております。

　「市民自治推進委員会」の右は「庁内委員会」と「行政」のスケジュールになります。

　「庁内委員会」は、市民検討委員会のときと同様に、庁内に協働推進庁内委員会を設置し、市民自治推進委員会の６部会に対応した庁内の６部会を設置しています。

　「庁内委員会」と「行政」は、市民自治推進委員会の議論に対応して庁内部会等を開催し、既存事業の見直しや新規事業などにより市の取組の反映を検討します。

一番右は「市民及び団体」のスケジュールになりますが、主に委員の皆さんの対応を想定して記載しています。

上から３つ目の囲みに「各団体・事業所へ情報共有」とありますが、これは以前にも部会でお願いしましたが、委員の皆さんは所属団体からの推薦により市民自治推進委員会に参加している方がほとんどでありますので、所属団体の中で市民自治推進委員会はこういうことをやっているよという市民自治推進委員会の取組について情報提供・情報共有していただきたいということがあります。

また、必要に応じて各団体内で健康に関する取組の検討をしていただきたいということです。

その下の１０月のところに「各団体・事業所内での新規事業の検討」とあります。

これは、部会の中で議論された内容について、委員が自分の所属する団体や事業所で対応可能な取り組みについて、計画や予算化を検討していただきたいということです。

スケジュール的には、市の取組に関する協議を先にして、その後の話になります。

その下の２月のところに「市民、各種団体が市民参加」とあります。

これは、「市民自治推進委員会」の２月のスケジュールの「まちづくり部会（仮予定）市民講演会」に対応しているもので、講演会に市民や各種団体の方々の参加を予定しているものです。

まちづくり部会としては、本日講話をいただいましたが、以前から話に出ていたのが、健康になるための体のしくみを、皆さんの知らない知識や正しい知識をどのように普及させていくのかという内容ですので、どのように周知をしていったら良いのかを話し合っていただきたいです。

**≪副部会長≫**

今年度まで行っている事業の中で今日のような講話をする、例えば今、マラソン等が流行っていますが、そのイベントの中で講話を行うなど既存事業の中で可能なのか。ダメであれば新規で予算化しなければならないと思います。

**≪部会員≫**

健康ということで始めても、市民に反映しなければ意味がないですよね。

講話をするとしても毎回サービスで行うわけにもいかないので、ある程度予算化したり、最終的には参加者から料金をいただいたりするかどうかということを、この部会で話し合って決めなければいけないと思います。

委員の講話は苫小牧市や室蘭市で開催していることがほとんどで、登別市民はあまり関心が無い状態ですよね。今後は、市民自治推進委員会の中で全員が賛同してくれるようにしていくことを考える必要があります。

**≪副部会長≫**

部会だけではなく、市民自治推進委員会として動いてはどうでしょうか。

それぞれの母体団体に話をし、参加してもらうこともできますよね。

**≪部会員≫**

何回も試みた事がありまして、まずは無料で市民に啓発することを考えました。

最初は、市民活動センターの１階のフリースペースで実施していました。

沢山の人数が集まるときもあるので、その日になってみないと何人来るかわからない状態でした。

市民活動センターに受け付けをしてもらえないかお願いしましたが断られてしまい、室蘭市の市民活動センターでは受け付けをしてくれました。

登別市では自分が受け付けをし、携帯電話で対応していましたが、仕事をしているので出られない時もありました。一方で受け付けをしないと人が沢山人来てしまうということがあり、市民活動センターからはこんなに沢山フリースペースに集められると困ると言われてしまいました。登別での活動は２年くらいでした。

室蘭市では今でも活動していますが、受け付けはしてもらえなくなりました。

自分の場合は、講演をやってもみんな最終的には質問をしたいみたいですが、仕事の合間に講演しているため質疑応答の時間をとることができません。

**≪部会員≫**

無償で行うとそのようになってしまいますね。

ある程度有償にして、来た方が聞きたいことを聞けるようにした方が良いですね。

今は、病気にならない人にお金をかけましょうという方針も出ているので、予算をかけないとダメだと思います。

**≪事務局≫**

室蘭市では、無償ではなくて市からお金が出ているのですか。

**≪部会員≫**

室蘭市や苫小牧市からは一切お金は出ておらず、参加費のみです。

事業として健康に関わる取り組みをしているのはなかなか無いと思います。

また、どれだけ真剣に行政が向き合うかによって、市民が利用できるものになるかどうか決まってくると思います。

からだの仕組みを理解することが病気予防の第一なのではないかと思いますので、参加費１回５００円ですので結構高いように感じるかもしれませんが、一度聞いた方は面白いと来てくれていますね。

**≪事務局≫**

最初は参加費を取らずに無料できっかけづくりか何かをされたのですか。

**≪部会員≫**

そうですね。私の話に集ってくる人たちがサークルを作っており、その会員数が苫小牧市は約１４０名、室蘭市は約２０名、登別市は０名となっており、その会員さんたちが知識は必要だということで話を聞きに来ています。

苫小牧市では、年間を通して市主催の医学講座を春と秋の２回開催させてもらっているので、そういう意味ではリンパの講座といったら名前も少しは通るようになってきました。やり始めて６年が経ちました。

個人で１からやり始めたので６年も掛かりましたが、これが市の主催で行うとなれば、ポスターも色々な所に貼らせてもらえますし、このような事だけでも大分違いますね。

**≪事務局≫**

登別でも小さい支援団体みたいなものが沢山できれば違ってきますね。

**≪部会員≫**

自分で個人的に実施するのであればそのやり方で良いと思いますが、事業として行政で実施するのであれば週を決めて、一週間毎に全部の町内会に話をしに行けば良いわけです。

当然何かをするのであればお金は掛かると思いますが、本気で市民を巻き込むのであれば待っているだけでは無理だと思います。

どれだけ真剣に行政が向き合うかしないと、市民が利用できるものにはならないので、それでしたら、今自分がやっていることと何も変わりません。

**≪部会員≫**

最初は無料でやってもらう形になるとは思いますが、それが積み重なって市民を巻き込んでいければ良いかもしれないですね。

**≪部会員≫**

ＮＰＯの事業の中で、５名以上集まれば無料で話をしに行くということもやっているので、無料でできないわけではありません。

ただし、質疑応答等は含まれておりません。

**≪部会員≫**

我々の年代よりも小さい子どもがいるお母さんたちに話を聞かせたいですね。

**≪部会長≫**

先程の講話のなかで、市民自治推進委員会の委員達も何らかの感じは思ったかもしれないですね。

それは、まちづくり部会だけに任せるのではなくて、市民に対してどのような手法で話を聞いてもらうのかということを考えていく必要がありますね。

**≪部会員≫**

講演として実施するならある程度人数が多くても大丈夫ですが、対話型にするのであれば１０人程度が望ましいですね。少人数でないと話したくても話せない方が出てくると思います。

**≪部会員≫**

今日の講話のように、参加型の講話はとても良かったですね。

**≪部会員≫**

癌はリンパに転移したら終わりだとよく聞きますが、なぜかという事までは誰もわからないですよね。

**≪部会長≫**

リンパに転移と言われてもどこに転移するのかわからないですよね。

**≪部会員≫**

それも本当は医者に聞くべきだと思いますが聞けない。聞けないから医者に抗がん剤をやった方が良いと言われたらするしかない。しかしそこには副作用などのリスクが沢山あります。

その部分を知ったうえで受けるということが大切ですね。かぜ薬もわからないと思って余計なものも出たりしますからね。

**≪庁内委員兼事務局≫**

今年の２月に仮予定で市民講演会を入れていますが、こちらで事業費予算を持っているので上手く活用できないかなと思っております。

多めの人数を集める想定ですが、最初は多くの人に参加してもらい講演会を開催し、そのあとは少人数で対話型の講話を開催しても良いのかなと思いました。

また、社会教育グループのときめき大学など活用できないかなと思いました。

それと例えば、広報などで、委員を周知し名前を知ってもらうという取り組みをすることは可能ですか。

**≪部会員≫**

可能です。

**≪部会員≫**

それがある程度浸透してきたときに、講演会を開催していただけると良いかもしれないですね。

**≪部会長≫**

今日は話をこの辺までにして、次回以降この話をどのように市民に認識してもらうかの方策を話し合っていきましょう。

**【次回会議について】**

・講演会を実施することになった場合の周知方法について話し合う。

・平成２８年９月２７日（火）１８時３０分から